

事務事業名		全国都市公園整備促進協議会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	管理係	担当課長名	小野 英世	
	施策	3 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 公園の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11721	一般	8	4	5	全国都市公園整備促進協議会参画事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S49年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		参画事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
全国都市公園整備促進協議会に会員として負担金を支出している。また協議会発行の資料等から公園等の整備や維持管理に関する情報を得ている。 全国都市公園整備促進協議会は、公園緑地の整備促進を図ることを目的として、全国502の自治体が会員となっている団体である。					(市の活動) ・全国都市公園整備促進協議会に負担金の支出。 ・各種資料等から情報収集し事務事業に活用した。 (全国都市公園整備促進協議会の活動) 会議、キャンペーン、シンポジウム等への協力、情報収集と会員への情報提供、国への要望活動。						
					活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					都市公園数	箇所	154	157	157		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
市職員 <参画対象団体>全国都市公園整備促進協議会					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					都市整備課の職員数	人	18	18	18		
					全国都市公園整備促進協議会の会員数	団体	603	502	502		
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
都市公園についての最新情報を得て、事務事業に活用する。					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
					市民からの苦情・要望件数	件	168	212	180		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
快適な住環境創出のため、公園等が整備されている。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
					市民1人当たりの都市公園面積	m ²	18.27	18.36	18.92	19.53	19.87

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	42	42	42	42	42			
	事業費計(A)	千円	42	42	42	42	42			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	42	負担金	42	負担金	42	負担金	42
人件費	人	2	2	2	2	2				
のべ業務時間	時間	12	12	12	12	12				
人件費計(B)	千円	47	47	47	47	47				
トータルコスト(A)+(B)	千円	89	89	89	89	89				

事務事業名	全国都市公園整備促進協議会参画事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	管理係
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	公園整備促進を図る目的から昭和45年に会が発足し、佐野市は昭和49年から参加した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	都市公園の整備は、近年の公共投資の抑制を受け縮小方向にあるが、災害時の避難及び防災拠点となる広場の確保、またバリアフリーに適合した整備促進を図るようになってきている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	協議会への参画により情報収集を図ることは、公園や緑地の管理に寄与することである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	公園緑地の健全な発達を図ることを目的とし活動する協議会であり妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	公園や緑地の管理に活用されており妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	都市公園等の維持管理に活用されており、十分な成果が出ている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は負担金のみであり削減できない。 人件費は必要最低限の人数で行っており削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	都市公園等の整備に貢献するものなので、受益者は不特定多数の公園利用者となる。そのため、受益者は特定されず、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	全国都市公園整備促進協議会が解散又会から脱会すれば本事業は終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					